

# 第1学年 後期中間考査 正式試験範囲

第1日：11月30日（木）

| 時・教科      | 試験範囲   | 学習へのアドバイス  |
|-----------|--|--|
| 1校時<br>社会 | <p>地理的分野<br/>教科書 P20～32「日本の姿」<br/>P114～138「南アメリカ州・オセアニア州」<br/>資料集 P14～21、90～101<br/>ワーク P16～23、64～75、81</p> <p>歴史的分野<br/>教科書 P4・5、17～37<br/>資料集 P2、8～29<br/>ワーク P2～17</p> <p>時事問題 「BRICS の拡大」<br/>「宗教・イスラエル・パレスチナ」</p>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・範囲に歴史が含まれるようになります。今まで以上に、用語を漢字で正確に書けるように練習してください。</li> <li>・文章で答える問題（説明する問題）については、何を答えなければならないか（何を聞かれているか）を読み取り、相手に伝わる文章を書くことが必要です。授業中に相手に伝えることを意識して丁寧にノートに書くことが大切です。</li> <li>・ワークは前回までと同様、解答用のプリントに記して提出してください（2枚重ねてから2つ折りでの提出をお願いします）。</li> </ul> |
| 2校時<br>英語 | <p>○教科書<br/>Unit6【pp.57～66】<br/>Unit7【pp.67～76】<br/>Unit8【pp.77～86】</p> <p>○エイゴラボ<br/>Unit6【pp.72～91】<br/>Unit7【pp.92～107】<br/>Unit8【pp.108～123】</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・Unit6よからは小学校の復習ではなく、中学生の文法事項で構成されています。難易度がグッと上がりますので、日頃の授業はもちろん、家での予習復習にも力を入れていきましょう。</li> <li>・文法を用いて文を作ったり会話したりするには、やはり単語力が必要！教科書に出てきた新出単語を中心に、単語学習にも力を入れましょう！</li> </ul>  |
| 3校時<br>国語 | <p>○教科書<br/>p140～p145『河童と蛙』<br/>p275～p279「文の成分」<br/>P146～p163『オツベルと象』<br/>P122～p126『故事成語－中国の名言－』<br/>P200～p210『言葉がつなぐ世界遺産』</p> <p>○ワーク p78～p79、p48～p51、p80～91、p64～p71、p104～111</p> <p>○漢字 p42～p59</p> <p>○文法 P12～p27「文の組み立て」</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テストでは、聞き取り、漢字、文法、読解、作文の問題を出題します。テスト勉強では、教科書をよく読み、ワークでの演習を繰り返しましょう。ワークに取り組む際は、記述問題の書き方や選択肢の選び方などを意識しましょう。</li> <li>・記述問題（特に作文問題）では、話し言葉ではなく、書き言葉を使うようにしましょう。</li> <li>・記述の問題では、<u>国語のワーク P4、5に書いてあることに注意しましょう。</u></li> </ul>                       |

第2日：12月1日（金）

| 時・教科              | 試験範囲  | 学習へのアドバイス   |
|-------------------|---|---|
| <b>2校時<br/>理科</b> | ○物質分野<br>教科書 p132～133(ガスバーナーの使い方)<br>p154～201<br>便覧 p194～195(ガスバーナーの使い方)<br>p201～211<br>ワーク p68(ガスバーナーの使い方)、p74～103 | ・今回の試験から、 <u>三角定規</u> を用意するようにしましょう。<br>・今回は試験範囲がとても広いので、早めにワークを進めておきましょう。<br>・重要な語句を、意味とともに覚えましょう。<br>・テストは、マークシート式です。濃くはっきりとマークするために、鉛筆を用意しておきましょう。<br>・ワークは「理科の学習ノート」で回収します。<br>・計算問題については、何度も解いておきましょう。 |
| <b>3校時<br/>数学</b> | 教科書 p.97～p.165<br>ワーク p.68～p.107  | ・文章題はよく問題文を読みましょう。<br>・ <u>三角定規とコンパス</u> を必ず用意しましょう。<br>・グラフはかき方のルールに従ってかきましょう。<br>・ワークは p.68～p.107 まで取り組み、丸付けをして提出してください。他には、ドリルノート、授業ノートが提出です。詳しくは教科担任から説明します。  |